

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	令和3年度～令和7年度（5年間）																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（ちゅうぶさんがく） 中部山岳森林計画区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 中信森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本計画区は、長野県の北西部に位置する松本市を含む4市5村に所在する約99千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、その多くが飛騨山脈（北アルプス）の日本を代表する山岳地帯に所在し、中央部には日本列島を東西に分ける「糸魚川～静岡構造線」が南北に走り、地質的に脆弱なうね急傾斜地が多いことから、保安林に指定された国有林野（全面積の94%）のうち、国土保全を重視する土砂流出防備・土砂崩壊防備保安林の割合が46%と比較的高く、水源涵養も含め公益的機能発揮の上で重要な役割を果たしている。</p> <p>また、優れた自然景観を有しており、西側は中部山岳国立公園、北東側は妙高戸隠連山国立公園、東側は八ヶ岳中信高原国定公園に指定され、高瀬川源流部は森林生態系保護地域、加えて上高地一帯は国の特別名勝及び特別天然記念物に指定されている。上高地、美ヶ原高原をはじめ、山岳、高原、溪谷、湖沼といった豊かな自然環境は、レクリエーション・保健休養の場として、登山や森林浴、スキー場など、多くの人々に利用され、観光資源としての特性も兼ね備えている。</p> <p>本計画区の森林の現況は、人工林14%、天然林86%となっている。このうち、人工林の樹種別割合は、カラマツ66%、ヒノキ22%、スギ7%、その他5%でカラマツの占める割合が高い地域である。人工林における樹齢構成をみると、間伐適期である5齢級から10齢級の林分が約3割、主伐期である12齢級以上の林分が約6割となっており、主伐、間伐を見据えた路網整備や、主伐後の更新とその後の保育が必要となっている。</p> <p>本計画区の森林面積は、県下森林面積の22%を占め、苗木生産やカラマツをはじめとした木材の生産地であり、国有林においても木材の安定供給を通じ、地域産業に寄与することが期待されている。</p> <p>令和2年度上半期に実施した完了後の評価では、地元長野県から「適切な森林整備により、山地災害防止機能等の森林の持つ公益的機能の維持増進、木材の安定供給、量的及び質的な面での地域の林業・木材産業の振興に貢献しており、コストを意識した森林整備や路網整備の推進など効果的な事業が実施されている。今後とも、計画に沿った着実な事業実施に努めていただき、間伐等の森林整備の推進や、今後、増加が見込まれる主伐後の再造林に係る伐採・造林一貫作業システムなどの低コスト造林及び獣害防止対策等、地域のニーズを組み入れながら民有林と一体となって取り組まれない。」と意見をいただいている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域から求められる役割を踏まえ、森林の有する公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給、地球温暖化の防止及び地域の活性化に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。なお、実施にあたっては、伐採・造林一貫作業システムによる主伐・再造林コストの低減をはじめ、保育作業や間伐作業における低コスト化、効果的な獣害対策等について、フィールドや技術力を活かして取り組み、民間連携の取組を通じて民有林への技術の普及を図ることとする。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">155</td> <td style="width: 10%;">ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,920</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>0.7</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.3</td> <td>km</td> </tr> </table> <p>総事業費 1,409,527 千円（税抜き 1,281,388 千円）</p>			主な事業内容	森林整備	更新面積	155	ha			保育面積	1,920	ha		路網整備	開設延長	0.7	km			改良延長	0.3	km
主な事業内容	森林整備	更新面積	155	ha																			
		保育面積	1,920	ha																			
	路網整備	開設延長	0.7	km																			
		改良延長	0.3	km																			
費用便益分析	総便益（B）	4,601,946	千円																				
	総費用（C）	2,199,301	千円																				
	分析結果（B/C）	2.09																					
森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当と判断される。																						

<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資すること、また、事業の実施を通じて生産された木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業の振興に寄与していることから、その必要性が認められる。 ・ 効率性 森林整備では、列状間伐や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとし、路網整備では、トラックの通行可能な林道がなく、林業機械での長距離運搬となっている非効率な箇所を優先的に整備するなどによりコストの縮減を図ることとしている。 これらについては、費用便益分析の結果からも事業の効率性が認められる。 ・ 有効性 計画的な保育等の実施、森林整備と連携した路網の整備を通じて、多面的機能を発揮する健全な森林整備に資するものであり、また、森林施業の効率化・低コスト化、効果的な獣害対策等についても民国連携の取組を通じて民有林への普及を図ることとしていることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>
-------------	--

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)
 施行箇所：中部山岳森林計画区

都道府県名：長野県
 (単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,035,455	
	流域貯水便益	378,983	
	水質浄化便益	1,388,708	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,178,704	
環境保全便益	炭素固定便益	301,329	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	23,783	
	木材生産確保・増進便益	206,851	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	80,915	
維持管理費縮減便益		7,218	
総 便 益 (B)		4,601,946	
総 費 用 (C)		2,199,301	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{4,601,946}{2,199,301} = 2.09$		

森林環境保全整備事業 中部山岳森林計画区 事業概要図

森林整備事業（下刈作業中）



中信森林管理署 下刈

森林整備事業（間伐前）



（間伐後）



中信森林管理署 間伐

シカ防護柵設置作業



路網整備事業（新設工事）



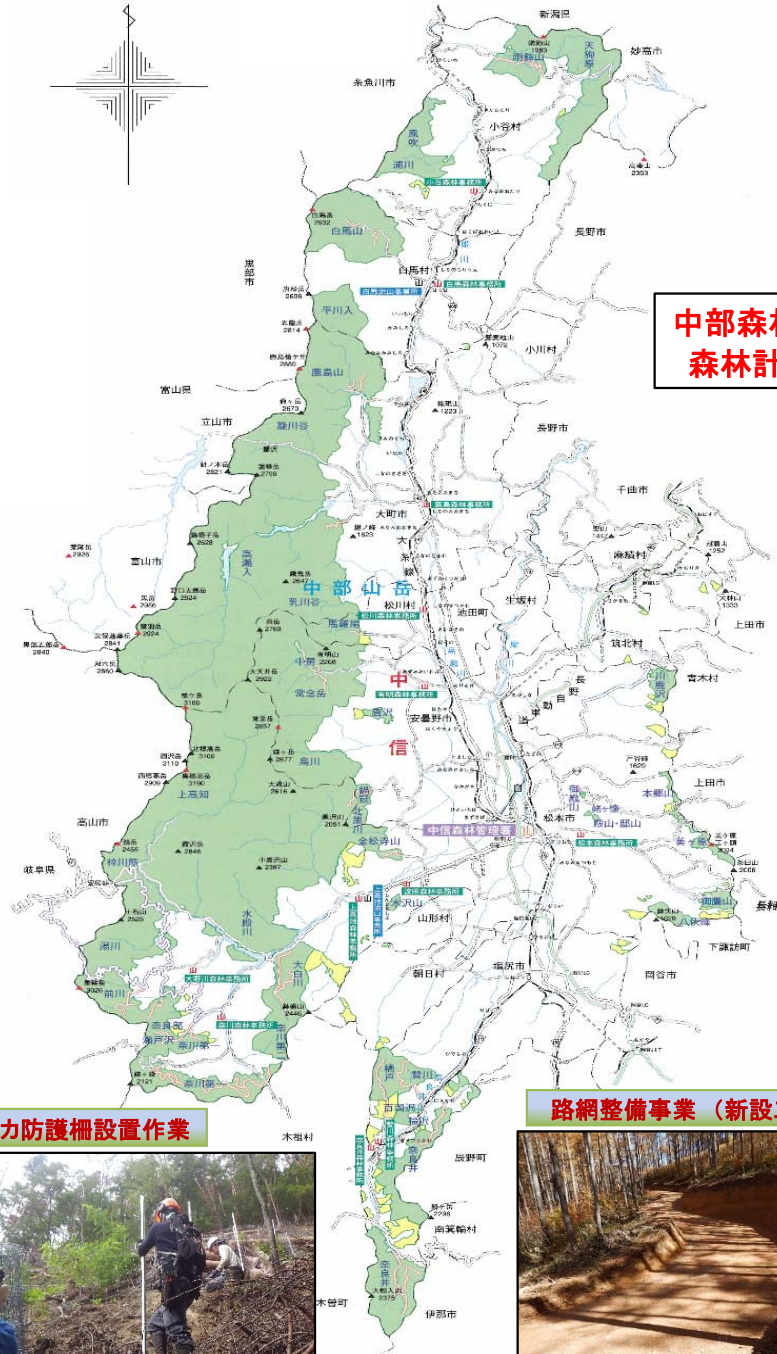
路網整備事業（改良工事）



被災後



改良後



中部森林管理局管内
森林計画区位置図

